

8月24日(月)

神と人に仕える

[illegible]

今日の力

[illegible]

2026年8月24日 ~ 8月30日

翻譯 松浦 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 ピリピ人への手紙 4:10~20

私は、私を強くくださる方によって、どんなことでもできるのです。

ピリピ 4:13

人を強くするということは、その人を愛し、教え、その人が神様の助けを得て、周りの人を助けることができるようにすることです。このように人々を助ける働きは、小石を静かな池に投げたときにできる波紋のように、波及効果があります。

すべては祈りの中で神様に助けを求めるところから始まります。私たちは自分の人生における神様のお導き、ご指導、みこころを求めて祈ります。神様は、御国で私たちに果たしてほしい奉仕に応じて、私たちを人生のビジョンや使命へと導いてくださいます。

私たちには不完全さや欠点がありますが、それにもかかわらず、私たちが喜んで献身するとき、神様は私たちを用いてくださいます。神様に用いられる中で、私たちは成長し、奉仕において、より効果的で役に立つ者となる力が与えられます。聖アウグスティヌスはこう語りました。“神が風を吹かせ、人間が帆を上げる”神様は、私たちが奉仕するために必要な力を与え、励まし、用いてくださるのです。

神があなたに託されたその賜物を受け取り

キリストと隣人への奉仕のために用いなさい

そうすれば、神はそれを天の星のように光り輝かせてくださるでしょう

—ジョン・サザーランド・ボネル*

(*編注:カナダ出身の長老派教会の牧師・説教者。1893-1992)

讚美歌 391 ナルドの壺ならねど

祈り 全能なる愛なる神様。私たちを励まして、あなたの御国で、あなたとともに働くことができるようにしてくださって感謝します。どうか私たちがあなたのみこころを地でも行いうことができるように力をお与えください。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

カリフォルニア州 サンフランシスコ / Sビル・ヒメネス

8月25日(火)

神とともに敵に立ち向かう

聖書朗読 コロサイ人への手紙 1:15~18

隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし、現されたことは、永遠に、私たちと私たちの子孫のものであり、私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである。
申命記 29:29

私は大自然のドキュメンタリー番組を見るのが大好きです。神様が造られた世界に畏敬の念を抱きます。中でもお気に入りの一つが、タコを取り上げた番組で、私がこれまで見た中でも最も印象的な番組の一つでした。

神様がタコに与えられた、敵から身を守るための能力は驚くべきものです。タコは一瞬で体色を変えることができます。また、姿を変えて、有毒なウミヘビのような危険な生き物に擬態することもできます。タコの自己防衛本能は、神様によって備えられたものであり、意識して考えなくても自然に働くようになっています。

動物や昆虫、海の生き物は、霊的な危険については何も知りません。人間だけが霊的な敵と向き合うのです。でも、私たちがクリスチャンになることを選ぶとき、神様は私たちが信仰に堅く立つことができるように備えてくださいます。神様は私たちに、生活に適用するための御言葉、日々身に着けるための神の武具、良心の導き、そして誘惑や悪に打ち勝つ助けとして聖霊を与えてくださいます。

どのような困難に直面するとしても、私たちは神様を信頼することができます。あらゆる生き物を愛と目的をもって造られた神様は、私たち人間にはなおさら愛のまなざしを注いでくださるでしょう。私たちが神様を選ぶなら、神様は私たちをあらゆる霊的な戦いに備えさせてくださるだけでなく、愛と力で私たちを取り囲んでくださいます。私たちは決して一人ではありません。

讃美歌 494 わが行くみち いついかに

祈り 天の父なる神様、あなたから与えられた賜物や能力を活かして、みこころにかなう行いができますように。あなたが日々与えてくださる霊的な糧に心を留めていられますように。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

コロラド州 キャノンシティ / ロン・グロース

8月26日(水)

憎しみのとりこになってはいけない

聖書朗読 コロサイ人への手紙 3:1~11

しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そして、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。
コロサイ 3:8

憎しみは私たちの心を支配します。

私たちは自分が憎む者の人質です。なぜなら、彼らが私たちの思いを捕らえてしまうからです。

敵意は心を汚し、怒り、憤り、苦々しさ、恨みという毒で満たしてしまいます。

偏見や侮辱の標的となることが多かったブッカー・T・ワシントン*はこう語りました。「誰にも私の魂を憎しみのレベルにまで引き下げさせはしない。」(*編注:アメリカ合衆国の教育者、作家。1856-1915)

憎しみは多くの心の傷を生み出してきましたが、憎しみによって癒された傷はひとつもありません。スカンクとけんかしたら勝てるかもしれませんが、スカンクの発射する強烈な悪臭で、その代償が非常に大きなものであると知るでしょう。

憎しみは憎まれる人よりもむしろ憎む人自身を傷つけます。

キリストは私たちを、苦々しさに縛られるのではなく自由を選び、聖霊によって怒りを平和に変えていただくようにと招いておられます。

讃美歌 389 敵を愛せよとの

祈り 主よ、私の心の中にある苦々しい思いを解放してください。私を怒りから解放し、あなたの平安と愛で満たしてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



テキサス州 ヒューストン / ジョー・バーネット

8月27日(木)

教 え 子 か ら 学 ぶ

聖書朗読 コロサイ人への手紙 3:12~17

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。
エペソ 4:32

人生は本当にすばらしいものです。昔、私が教えていた可愛い小学3年生の女の子が、今では小学3年生を教える先生になっています。今でも予定が合えば、私たちは一緒にランチをしたり、立ち寄りたりしています。彼女は難しい家庭環境の中で育ちました。私はいつも彼女を励まし、導き、人生に希望が持てるように語ろうとしてきました。でも最近では素敵に役割が逆転して、私が励まされています。

私は頭に來た状況について彼女に話していました。ある人にメッセージを送ったのに二日たっても返信がなく、私は傷つき無視されたように感じていたのです。私は同情してもらえらるだろうと期待して、イライラした気持ちを打ち明けました。ところが、彼女は優しく耳を傾け、穏やかな口調でこう言いました。「勘弁してあげて、キルマー先生、赦してあげて。」

その言葉に私ははっとしました。今では彼女が私を、より良い選択へと導いてくれていました。彼女は、私が知ってはいるけれど忘れてしまっていたことを思い出させてくれました。赦すことはいつも簡単であるとは限りませんが、それはいつもキリストに倣うことなのです。

神様は今まで数え切れないくらい何度も私たちを赦してくださいました。イエス様は、自分も赦されているように、人を赦しなさいと教えておられます。(マタイ 6:12) 恵みは弱さではなく、行動によって表される愛なのです。

今日、忘れずに赦してあげられますように。私たちの救い主イエス様がいつも私たちを赦してくださっているように。

讃美歌 511 みゆるしあらずば

祈 り 天の父なる神様、日々の恵みに感謝します。私たちが人を早く心から赦し、あなたの愛を示すことができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テネシー州 コルドバ / ジュディ・キルマー

8月28日(金)

主 と と も に あ る 喜 び

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第一 5:12~28

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

I テサロニケ 5:16~18

ベニス是世界で最も美しい都市の一つです。そこに住む人たちはきっといつも幸せだろうと想像がつかます。でも、私たちは真実を知っています。地上のどれほど素晴らしい場所に住んでいても、人は苦しむものです。美しい景色があるからといって、人生の困難がなくなるわけではありません。

私は、息子にベニスについての絵本を読み聞かせていたとき、このことを思い出しました。絵本には《ベニスでは誰も不幸せな人はいない》という一文がありました。私が読むと、5歳の息子が静かにこう言いました。「じゃあ、ぼくたちはベニスには行けないね。」息子のあどけない一言に、はっとしました。つまり、息子は、自分たちは幸せではないから不幸せな人しかいないベニスには行けないと思ったのです。彼は両親に何を見ていたのでしょうか。前の年は私たちにとって辛い年で、たぶん私たちは神様が与えてくださる喜びをあまりよく表わせなかったのでしょう。子どもはそういうことに気づくものです。

喜びとは人生が完璧であるふりをするものではありません。キリストとともにあって、どのような状況をも克服させていただくことです。

息子が成長していく過程で、神様が彼の喜びを守ってくださるようにと祈っています。あなたのためにも祈ります。誰も、どんな重荷も、どんな困難の時も、キリストがあなたの心に植えてくださる深い揺るぎない喜びを奪うことはありませんように。もしあなたの喜びが人生のごみの層の下に埋もれてしまっていると感じるなら、神様が今週、それらを少しずつ取り除いてくださいますように。そして、神様の喜びがあなたのうちに再び湧き上がりますように。

讃美歌 352 あめなるよろこび

祈 り 主よ、私たちのうちにある喜びを新たにしてください。あなたのご臨在を喜んでいることを表わし、あなたが神の子どもたちに望んでおられる喜びを何者にも奪われることはありませんように。イエス様の御名を通して。アーメン。 テキサス州 アービング / ブライアン・ヒューメック

8月29日(土)

仕える者の手

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第二 3:10~12

麗しさはいつわり。美しさはむなしい。しかし、主を恐れる女はほめたたえられる。彼女の手でかせいだ実を彼女に与え、彼女のしたことを町囲みのうちでほめたたえよ。
箴言 31:30~31

《人生の物語を語るのは顔ではなく手である》と言った人がいます。大工の握りこぶしは、彼がふるう金づちのように固くなります。一方、音楽家の指はヴァイオリンの弦のように自在に動くようになります。神様の御手は陶器師の手にたとえられます。神様は全世界を御手のうちにおさめられ、また、小さな赤ちゃんを抱きかかえられる、と私たちが賛美するとき、私たちは神様の御手の力強さと優しさを証しているのです。

私はいつも母の手をうらやましく思っていました。母の指は長く細くて、爪もきれいでした。それに比べて、私の指は短くて、爪もすぐ割れてしまいます。でも、私が感心していたのは、見た目よりも、母の手に表れている母の人生でした。母はその手で涙をぬぐい、熱意をもって正しい裁きをしました。その手で幼い娘たちのために服を縫い、娘たちの人格を形成しました。

両手を挙げて新しい命の誕生を喜び、ぎゅっと握り締めて死の悲しみを耐えました。崩れやすいパイ生地を作るほど優しいけれども、家族の重荷を負うほど力強くもありました。惜しみなく人に与えるために差し伸べられ、祈るときには静かに組まれていました。

人生は、手のように、怠惰によって弱くなり、利己心によってゆがみ、残酷さによって荒れてしまうことがよくあります。生活が手に現われるように、人生は内なる自分が外に現れたものなのです。

讃美歌 79 ほめたたえよ つくりぬしを

祈り 父よ、どうか私たちに喜んで仕える者の手と、その手を使う多くの機会を与えてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 オースティン / ジョイス・ハーディン

8月30日(日)

恵みによって仕える

聖書朗読 テモテへの手紙 第一 1:12~17

というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです。私たちはこう考えました。ひとりの人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのです。また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。
Ⅱ コリント 5:14~15

クリスチャンであるあなたが毎日起きて、神様にお仕えするのはなぜですか。恐れからでしょうか。罪悪感からでしょうか。それとも、人々が抱いているあなたの評価を守り保持しようとする気持ちからでしょうか。これらの動機のどれにも言えるのは、焦点が自分自身と、自分が何をするかに置かれているということです。

しかし、使徒パウロの場合はそうではありませんでした。彼は熟練したユダヤ教学者であり、かつてはキリスト者を迫害していた人物でした。また、自分自身を『罪人のかしら』と呼ぶほど、自分の罪深さを認めていました。彼が人からの評価、罪悪感、恐れから神に仕えたとしても、もっともでした。しかし、パウロが主に仕えたのは、神様の恵みが彼の上にゆたかに注がれたからでした。(Ⅰ テモテ 1:12~16) パウロは自分自身ではなく、キリストと、キリストの十字架上での犠牲に目を向けていました。

私たちが、自分は罪人であり、自分自身の力では自分を救うことができないと理解するとき、神様の恵みによって心が動かされます。イエス様が私たちのためにしてくださったことに対する、言葉では言い表せないほどの感謝と喜びが、私たちを動かす力となるのです。そして私たちは、キリストが私たちの人生に与えてくださった祝福への感謝から神様に仕えるようになります。

讃美歌 284 主のとうときみことばは

祈り 救い主であられる神様。あなたが惜しみなく注いでくださった豊かな恵みに対して、感謝しても感謝し切れません。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジャン・ノックス